

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童デイサービス エデュカール			
○保護者評価実施期間	R7年 4月 1日		～	R7年 4月 30日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	5名	(回答者数)	5名
○従業者評価実施期間	R7年 4月 1日		～	R7年 4月 30日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7名	(回答者数)	7名
○事業者向け自己評価表作成日	R7年 5月20 日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	他職種の支援員がいる為多方面からの支援を受けられる。	個別支援会議を定期的に実施、5領域を踏まえ支援内容を職員が周知し他職種連携を図る。	専門職の勉強会を実施し、外部研修に積極的に参加する。
2	会社には複数の福祉サービス部署がある。	複数の福祉サービス支援の見学や行事の参加ができる。	部署間での応援体制を整える事で利用者の支援が充実できる。
3	近隣に同じ福祉サービス事業所がある。	情報交換をしている。	合同での行事や訪問活動等お互いを知る事でご利用者やご家族の課題解決に繋がるヒントを見つける。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	重度心身障がい児から重度心身障がい者への移行ができない。	会社に重度心身障がい者の受け入れ可能な部署がない。	児童発達支援利用者が放課後等デイサービスへ移行はスムーズだが放課後等デイサービスのサービス終了後の支援がない。慣れたスタッフとの関係が途切れる可能性がある。終了に向けて会社と相談していくか他事業所への移行を検討していく。
2	保護者会や保護者に向けての研修の機会が少ない。	できるだけ多くの家族参加できる日程調整や家族が抱えている課題の発掘が出来ていない。	家族の困り事やニーズについて情報収集し、解決に向けて一緒に考え寄り添っていける支援をしていく。
3	地域との交流の機会が少ない。	他事業所と情報交換はしているが実際の交流には至っていない。	積極的に外出プログラムを企画実行していく。地域の公園での取り組み等も増やし様々な体験が出来るようにしていく。